

えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト



江戸紹ざし 渡辺 靖子

Yasuko
Watanabe

「紹ざし」は、1200年以上の歴史を持つ日本独自の“刺繍”の一種です。明治の初め頃までは上流階級の手工芸品として親しまれ、“公家紹ざし”とも言われていました。「生紹(きろ)」と呼ばれる専用の布地に、染めた絹糸をより合わせて作る「紹ざし糸」を刺し、布地全体を埋めて模様を現します。渡辺氏は、伝統技法に独創的な発想を組み合わせ、現代に合った魅力的な品々を多数生み出しています。

2017年度 新作紹介

(※価格記載作品は「[えどコレ!](#)」にて順次販売予定)

まねき猫



ポーチ 16,200円(税込)
デザイン：女子美術大学 池永 遥香

四季



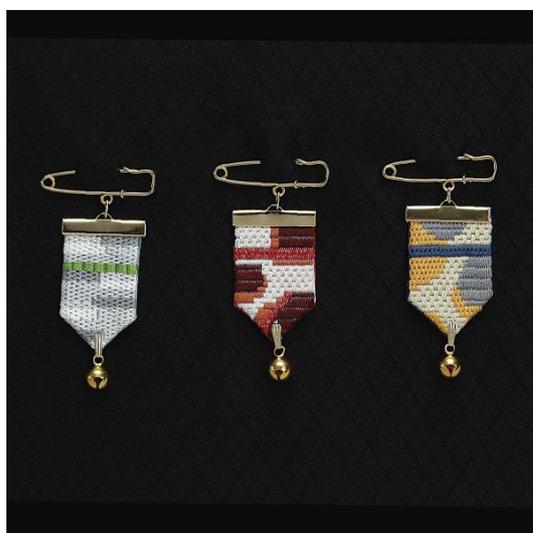
ペンケース 7,560円(税込)
デザイン：女子美術大学 池永 遥香

和桜兎



バッグインバッグ 27,000円(税込)
デザイン：女子美術大学 北井 稀

むなもとにゃんこ



ブローチ 2,700円(税込)
デザイン：女子美術大学 木村 蓉子

kurukuru



バッグインバッグ 12,960 円 (税込)
デザイン：女子美術大学 瀬戸 千春

pheasant



バッグ 27,000 円 (税込)
デザイン：女子美術大学 堤 あい